

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況				
① 自己有用感を高める教育課程を実施する。	B	生徒指導を基盤に学業指導の充実を図るため、校務分掌上のリーダーとの打ち合わせや振り返りを行い、対応策を講じた。学校行事をとおして生徒が主体的に取り組む意識や規範意識を向上させた。	保護者、地域の情報を広く収集し、町教育委員会と連携をとりながら、学力向上対策を進めていく。また、教職員の学校評価に基づいて、組織的対応の充実を図る。	先生が熱心に授業を行っていて生徒も落ち着いた態度で取り組んでいる。学力向上のために今後も継続してほしい。
② 主体的に学習に取り組む態度を育成する。	B			
③ 信頼される学校・地域とともにある学校づくりを目指す。	B			
II 保護者や地域との連携に努める				
① <u>HIPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。</u>	A	学校だよりや学年だより、学校ホームページ等でより地域の発進力を高める一方、ワークショップ型の懇談会を実施し本校の課題や改善点について話し合いを行い、コミュニケーションの場を広めた。	思春期の特徴を理解し、子育てについて、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等との連携を深めて、話し合いの場を重ねる。	学校ホームページやメール配信・各種便りで生徒の様子を伝えている。体育祭や松が峰祭には生徒の元気な姿が見られた。
② 地域人材・資源を生かし、地域の絆を深める活動を推進する。	B			
III 確かな学力の育成に努める。				
① 体験的な学習、問題解決的な学習を実践する。	B	ねらいの明示、アクティブ・ラーニングによる課題解決、振り返りの授業型を定着させたが、さらに探求的な学習の展開に力を注ぐ。 電子黒板やデジタル教科書を効果的に使う研修をしてきた。	デジタル教科書やICT機器を効果的に使う学習活動を積み上げ、教職員の資質能力向上に努める。数学の統一テストを実施し基礎力の向上を図った。	学習の積み重ねや実績が大切なので、丁寧な指導や支援を期待する。さらに効果が上がるよう先生方の努力を期待する。
② 学びを深めるICT(情報通信技術)を積極的に活用する。	C			
IV 豊かな心の醸成に努める				
① 生徒会活動の活性化を図り、リーダーの育成、仲間づくりをすすめる。	A	道徳の一斉授業や人権標語作成、生徒会によるいじめ防止キャンペーン等をとおして、仲間の気遣いや思いやりの気持ちの醸成に努めた。人間関係のとまどいや悩みへの相談を継続中である。	場に応じた言動がとれるよう生徒指導体制を整え、組織的に対応してきた。それを踏まえ、個別に対応する支援や助言を的確に実践するため、ケース検討を校内研修で行う。	学校での取り組みが地域にも広まり、活性化の波及効果が感じられる。不登校傾向にある生徒への支援を外部機関と連携しながら進めてほしい。
② チームでの指導を基本に、同一指導のもと豊かな心を養う。	B			
V 健やかな体の育成に努める。				
① 安全安心な教育環境を整え、心身ともに健康な生徒を育てる。	B	学級・教科担任が養護教諭、栄養教諭とのTT授業を行い、健康の大切さや食事の意義を理解させ健全な生活をする態度を育てた。体育の授業、朝のトレーニング、部活動で体力向上や心身の成長を図るようにした。	目標に向かって努力する生徒と途中で諦めてしまう生徒が混在している。易きに流れる面に打ち克ち、互いに高め合う集団づくりのために、繰り返し指導する。	部活動の各種大会やコンクールで活躍を知ることができた。運動と学習がともに向上するよう、生徒の個性に応じて力を伸ばしてほしい。
② 体育運動や部活動において、目標に向かって努力する生徒を育てる。	B			